

A6290 813系 0・400番台 3両セット

予価:13,200円(税別)

JANコード:125335 カートン内入数:12

A6291 813系100番台 3両セット

予価:13,200円(税別)

JANコード:125342 カートン内入数:12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

実車

1994(平成6)年、JR九州は北九州・福岡地区で使用していた国鉄近郊型電車の置換え用として813系を登場させました。軽量ステンレス製車体と普通鋼製の前頭部の組合せや20m級片側両開き3扉、転換クロスシートの採用などは811系と共通ですが、前面貫通路がホロと渡り板を装備したタイプになった点や、制御方式がVVVFインバータ制御に変更された点が異なります。鋼製の前頭部はJR九州のコーポレートカラーの赤に塗装され、同様に赤く彩られた客用扉とともにステンレス車体のアクセントとなっています。2両編成と3両編成が登場し、811系との連結も可能なことから柔軟かつ幅広い運輸が行われ、名実ともに北九州・福岡地区の主力車両として活躍しています。0番台は当初2両編成で登場しましたが、2003(平成15)年に3両編成化される際に中間にサハを組込み、400番台に区分されました。製造年次の違いから両先頭車と中間車で細かな差異が見られます。100番台は1995(平成5)年から製造されたグループで、鹿児島本線用車両は当初から3両編成で登場しました。0番台と比較して、座席の改良によって客用扉周辺のスペースを増加し、立席定員の増加が図られています。

商品概要

- ・マイクロエース近郊型電車シリーズの更なる充実
- ・ヘッドライト、テールライト、前面行先表示器点灯。LED使用(ON-OFFスイッチ付)
- ・フライホイール付動力ユニット搭載

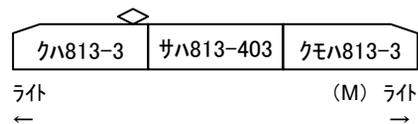
側面リブの少ない中間車400番台を連結した近年の姿



- ・先頭車は側面リブが多い0番台、中間車は側面リブが少ない400番台から構成されるセット
- ・強化型スカート装着
- ・車外スピーカー取付後の近年の姿

JR九州承認済

編成図 A6290



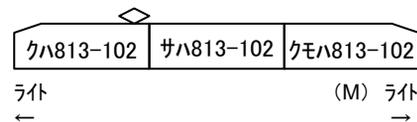
ステンレス車体に赤のアクセント



- ・3両全て側面リブが多い100番台のセット
- ・近年の姿

JR九州承認済

編成図 A6291



オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・灰:F0002

付属品 行先シール